

Title	〔略歴と業績〕 関口一郎
Sub Title	〔Biographie〕 Ichiro Sekiguchi
Author	関口, 一郎(Sekiguchi, Ichiro)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2003
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. ドイツ語学・文学 No.35 (2003. 2) ,p.232(13)- 227(18)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032372-20030210-0232

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

関口一郎教授 略歴・業績

学 歴

昭和二十一年 三月二十四日 長野県茅野市に生まれる
昭和三十一年 三月 長野県茅野市に生まれる
昭和三十三年 四月 上智大学文学部ドイツ文学科入学
昭和四十三年 三月 上智大学文学部ドイツ文学科卒業
昭和四十五年 四月 早稲田大学大学院文学研究科修士課程入学
昭和四十五年 三月 同修了
昭和四十五年 四月 同博士課程入学
昭和四十八年 三月 同単位取得退学
昭和五十二年 四月 西ドイツアーヘン大学に留学 (昭和五十四年三月 帰国)
平成十三年 九月二十五日 東京都小金井市にて死去

職 歴

昭和四十七年 四月 慶應義塾大学商学部助手
昭和五十一年 四月 慶應義塾大学商学部助教授
平成二年 四月 慶應義塾大学総合政策学部教授
平成六年 四月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員

学会及び社会における活動等

昭和四十五年～平成十三年

日本独文学会会員

昭和五十九年～平成十三年

日本独文学会ドイツ語教育部会会員

昭和六十年～平成十三年

ドイツ文法理論研究会 会員

昭和六十一年～昭和六十三年

日本独文学会ドイツ語教育部会幹事

平成二年～平成八年

日本独文学会ドイツ語教育部会幹事

平成十年～平成十三年

日本独文学会ドイツ語教育部会幹事

平成五年～平成十三年

日本独文学会理事

賞 罰

平成六年

平成六年度 慶應義塾大学「義塾賞」

業 績

【著書】

昭和五十七年

「役に立つドイツ語会話」(三修社 共著)

昭和五十八年

「ドイツ語の基本—文法編」(三修社)

昭和五十九年

「ドイツ語の基本—読本編」(三修社)

昭和六十三年

「楽しくドイツ語を」(郁文堂)

昭和六十三年 七月

「ドイツ語表現ハンドブック」(白水社 共著)

平成十三年	四月
平成十二年	四月
平成十一年	四月
平成八年	六月
平成八年	三月
平成八年	二月
平成七年	四月
平成七年	三月
平成六年	七月
平成六年	五月
平成六年	四月
平成六年	三月
平成五年	十二月
平成五年	三月
平成五年	四月
平成四年	四月
平成二年	四月
平成一年	

- 「コンスタンツェの日本日記」(三修社 共著)
- 「コミュニケーションのためのドイツ語」(三修社)
- 「はじめてのドイツ語」(日本放送出版協会)
- 「自己表現のドイツ語」(郁文堂)
- 「ハロー・ミュンヒェン」(白水社)
- 「慶應義塾湘南藤沢キャンパス・外国語教育への挑戦」(三修社)
- 「ハロー・ミュンヒェン パージョンII」(白水社)
- 「マイスター・ドイツ語コース 1」(大修館書店)
- 「楽しいドイツ語」(白水社)
- 「マイスター・ドイツ語コース 2」(大修館書店)
- 「マイスター・ドイツ語コース 3」(大修館書店)
- 「SFCドイツ語トレーニング」(朝日出版社 共著)
- 「学生のための学生によるドイツ語」(同学社)
- 「ハロー・ミュンヒェンコンパクト・バージョン」(白水社)
- 「電話のドイツ語トレーニング―日常生活・ビジネス編―」(第三書房)
- 「入門セミナー／現代コミュニケーション(全二巻)」(大修館書店 編集)
- 第一巻「コミュニケーションのしくみと作用」
- 第二巻「現代日本のコミュニケーション環境」
- 「学ぶ」から「使う」外国語へ―慶應義塾藤沢キャンパスの実践―(集英社)
- 「アレス・クラール!」(郁文堂)

【学術論文】

昭和四十七年

「Thomas Mann 試論」(慶應義塾大学商学部日吉論文集十二号)

昭和五十年

「ヴォルフガング・ボルヒェルト研究―戸の外の世界」(慶應義塾大学商学部日吉論文集十六号)

昭和五十一年

「ヴォルフガング・ボルヒェルト研究Ⅱ」(慶應義塾大学商学部日吉論文集十八号)

昭和五十四年

「ドイツ語教育法への提言」(慶應義塾大学語学視聴覚教育研究室紀要十三号)

昭和五十五年

「H. E. NOSSACKの世界」(慶應義塾大学商学部日吉論文集二十五号)

昭和五十六年

「ドイツ語学習のためのアンケート報告」(慶應義塾大学商学部日吉論文集二十八号 共著)

昭和五十七年

「社会的言語相互行為としての道案内コミュニケーション」(慶應義塾大学語学視聴覚研究室紀要十五号 共著)

昭和五十八年

「sgen動詞の意味と文構造(1)」(慶應義塾大学日吉論文集三十二号)

昭和六十年

「日常のコミュニケーションにおける日本人の意識構造」
(ドイツ文法理論研究会〈エネルゲイア〉十一号)

昭和六十一年

「sgen動詞の意味と文構造(2)―社会言語学的に見たsgen動詞の図式」(慶應義塾大学日吉紀要〈ドイツ語学・文学〉三号)

平成四年 一月

「慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおける新しい外国語教育の試み」(THE LANGUAGE TEACHER 全国語学教育学会)

平成四年 五月

「慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおける教育改革」(一般教育学会誌)

平成五年 三月

「講演…大学における外国語教育の多様化―慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおける新し

平成五年 九月
 「地球運動に基づく語学教材の分析評価」(ドイツ語教育部会会報 四十四号 共著)
 平成六年
 「Deutsch als Fremdsprache in Fernseh- und Rundfunkkursen」(Ulrich Ammon (Hrsg.) Die deutsche Sprache in Japan. Verwendung und Studium. iudicium verlag)

平成七年 十二月
 「ドイツにおける教師・翻訳者養成と派遣」(『日本語学』第十四卷第十三号明治書院)

平成八年 九月
 「外国語教育・学習環境設計」(慶應義塾大学日吉紀要〈ドイツ語学・文学〉二十三号)

平成十一年 四月
 「現代日本のメディアとコミュニケーション」(入門セミナー/現代コミュニケーション(全二巻)第二巻「現代日本のコミュニケーション環境」大修館書店)

平成十二年 三月
 「マルチメディアと外国語教育」(慶應義塾大学日吉紀要〈ドイツ語学・文学〉三十号)

平成十三年 三月
 「ドイツ語発音導入のためのCD-ROM練習ソフト開発・実践・評価」(慶應義塾大学語学視聴覚教育研究室紀要二十三号 共著)

【その他】

昭和五十七年四月～昭和五十八年三月 NHKテレビドイツ語講座講師

昭和五十九年四月～昭和六十三年三月 NHKテレビドイツ語講座講師

昭和五十一年度 第十二号 (昭和五十二年四月号) 雑誌『基礎ドイツ語』執筆(三修社)

昭和五十二年度 第二号 (昭和五十二年五月号) 雑誌『基礎ドイツ語』執筆(三修社)

昭和五十四年度 第四号 (昭和五十四年八月号) 第六号～第十二号 (昭和五十四年十月号～昭和五十五年四月号) 雑誌『基礎ドイツ語』執筆(三修社)

昭和五十五年度 第十二号 (昭和五十二年四月号)～昭和六十三年度第二号 (昭和六十三年六月号) 雑誌『基

平成元年度

『基礎ドイツ語』執筆(三修社)

第四号(平成元年八月号)、第五号(平成元年九月号)

第七号(平成元年十一月号)～第十号(平成二年二月号) 雑誌『基礎ドイツ語』執筆(三修社)

平成二年度

第一号(平成二年五月号) 雑誌『基礎ドイツ語』執筆(三修社)

昭和五十四年 九月

『GOETHE-INSTITUTの人々』(Brunnen 二二六号 郁文堂)

昭和五十七年

『初等ドイツ語講座(全三巻/関口存男著)』(三修社 改訂)

昭和五十九年

『新ドイツ語の基礎(関口存男著)』(三修社 改訂)

平成三年 七月

『慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス』(Brunnen 三三五号 郁文堂)

平成四年 十一月

『「言語」の授業とOHP』(「言語」大修館書店)

平成七年 六月

『言語学フロンティア6』(「言語」大修館書店)

平成十三年 四月

『三人鼎談 大江戸を眺めれば』(「三田評論」通巻一〇三四号 慶應義塾)